



つら～い 首、ひざ、腰、股関節、 関節の痛み

これって
どうにか
ならないの？

「イタタッ」…高齢者が寝たきりになる大きな原因として、問題視されている関節の痛み。そんな関節痛を改善に導く成分として注目されているのがヨシキリザメ軟骨だ。医療現場でも使われているという、その実力を検証してみよう。

再び正座ができる
ようになったひざ

「変形性膝関節症になったのは10年ほど前。はじめは歩いた後にひざが痛む程度でしたが、しだいに立ったり座ったりするたびに、ひどく痛むようになつたのです」というのは静岡県岡部の佐藤節子さん(84歳)。変形性膝関節症とは、ひざ関節の軟骨がなくなる症状。軟骨はひざを曲げ伸ばしするたびにクッションとなつてすり減ってしまうが、若い人は寝ている間に再生される。ところが年齢とともに再生が追いつかなくなり、軟骨がすり減つたまま骨同士が直接擦れるため、激痛が走るのだ。ちなみに平均発症年齢は56歳ののだとか。

軟骨を早く再生させるために、グルコサミンやコンドロイチン、ヒアルロン酸などの軟骨成分を試している人も多い。「お医者さんに診てもらつて、いろいろ試しましたが、年齢のせいかわからない。正座もできなくなつて、よその家でも行儀悪く足を投げだしていました」(佐藤さん)

この状況から抜けだしたきっかけが、新聞で見かけたヨシキリザメ軟骨だった。飲み始めて3カ月ほどで痛みがやわらぎ、半年後には長時間歩

楽になつていった
リウマチの痛み

「15年前にリウマチと診断されて以来、指とひざの痛みが消えることはありませんでした」病院に通いながらさまざまな改善法に取り組んだが、さほど効果はなく苦痛に悩まされた。雑誌で知ったヨシキリザメ軟骨も最初は半信半疑で飲み始めたという。

「驚いたことにだんだん楽になつてきて、半年後には痛みを感じなくなりました」それだけでもうれしかったが、1年後には指の腫れやこわばりも退いてきたそう。今も期待を込めて飲み続けているそう。

ヨシキリザメ軟骨に関する相談や問い合わせは、宮城県水産資源研究会で受け付けているそう(問い合わせ先 0120-112585/9/17時・日祝休/検索は「宮城県水産資源研究会」)。同研究会は東日本大震災の復興を期して発足した会で、水産資源の医学的価値に着目して有用有効な成分の紹介を続けているそう。

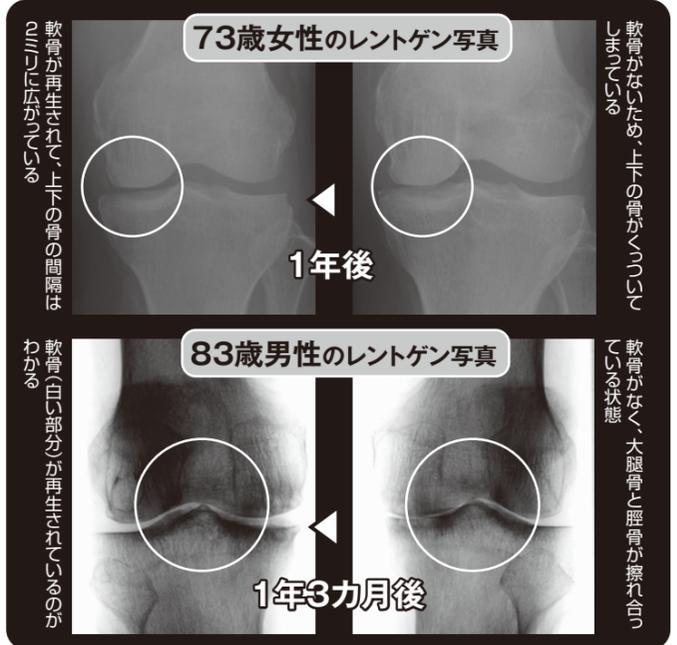
もしも関節の痛みが苦しめられているのなら、まずは気軽に相談してみてもどうだろうか。

いても痛みを感じなくなつたそう。「今では正座も平気でできずし、階段の上り下りも大丈夫。お医者さんからは、良好な状態だと太鼓判を押されています」

臨床データが証明
するヨシキリザメ
軟骨の効果

なかなか快方に向かわなかった佐藤さんのひざ痛が、ヨシキリザメ軟骨の飲用後に改善したのはなぜなのか。まずは下の写真をご覧ください。ヨシキリザメ軟骨の飲用によって、すり減つたままだった軟骨がしっかりと再生されているのがわかる。こうした改善成果はヨシキリザメ軟骨特有のものなのだとか。その理由を、医学博士で医師の藤沼秀光先生が解説してくれた。

「軟骨成分を補給する際に大切なのは、製造の段階で高熱が加えられていないことです。なぜなら高温になるとたんぱく質



軟骨が再生されて、上下の骨の間隔は2ミリに広がっている

軟骨(白い部分)が再生されているのがわかる

「市販の軟骨成分は高温加熱されているものが多く、これでは役に立たない。その点、ヨシキリザメ軟骨は特殊製法で作られているため、たんぱく質が変質せず、軟骨の再生を助けるのだという。同時に抗炎症作用や痛みの原因となる新生血管を抑制する作用も有し、変形性膝関節症はもろろん、リウマチや坐骨神経痛、ヘルニア、脊柱管狭窄症、骨粗しょう症の改善にも役立つという。」

「今までの関節痛治療は痛みを一時的に抑える鎮痛療法が

中心でしたが、このヨシキリザメ軟骨は根治治療を可能にするものとして大いに期待されています」(藤沼先生)

実際に藤沼先生の医院でも患者さんたちに推奨しており、大きな成果を挙げているそう。ほかの医療現場でも、口コミでヨシキリザメ軟骨の活用が広まっているという。その改善例を紹介しよう。

股関節の
痛みが緩和

伊藤祐子さん(静岡県・68歳)
「突然、左股関節が痛くなら

腰痛と脊柱管
狭窄症対策として

高木輝美さん(山梨県・84歳)

「長いこと脊柱管狭窄症で、毎年冬場に雪かきをしたあとは激痛で起き上がれなくなるといかなので、本当に困っていました」

そんな高木さんが変化を感じ始めたのは、ヨシキリザメ軟骨を飲み始めて4カ月が経過したころだった。

「足のしびれと腰の痛みが楽になりましたね。これはいいぞ、と飲み続けました」

それから雪かきをしても腰が痛むことがなくなり、現在は積極的に筋トレに励めるようになつていくそう。



藤沼秀光 医学博士
藤沼医院院長、栃木県警察医。天然の食品で治療することが人間にとって望ましいと語る。

※体験談は個人の感想です。効果を保証するものではありません。(年齢は取材時のもの) ※治療中の方は医師と相談の上、ご使用下さい。